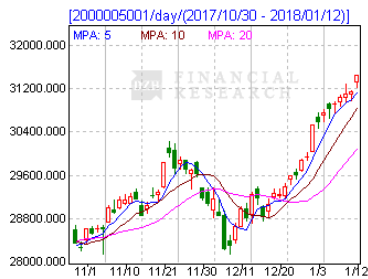


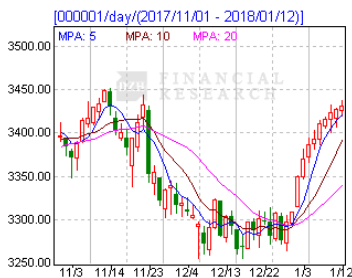


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,803.19	228.46	0.89	2.01	4.39	24,719.22
NASDAQ	7,261.06	49.29	0.68	1.74	5.18	6,903.39
日経225	23,653.82	-56.61	-0.24	0.63	3.90	22,764.94
上海総合	3,428.94	3.60	0.10	1.10	3.68	3,307.17
滬深300 (CSI300)	4,225.00	19.42	0.46	2.08	4.82	4,030.86
ハンセン	31,412.54	292.15	0.94	1.94	4.99	29,919.15
H株	12,468.93	173.41	1.41	2.11	6.49	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.9%高と5週続伸、上海総合指数は1.1%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.9%高と5週続伸。9日に節目の31000ポイントを回復すると、その後週末まで1日も下げずに過去最長の14連騰を記録した。世界的に投資家のリスクオン姿勢が強まるなか、米中の株高や企業業績の拡大期待などが支えとなった。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%高と4週続伸。8日におよそ1カ月半ぶりに終値で節目の3400ポイント台を回復すると、その後もじりじりと上昇。週末12日には1992年以来3度目となる11連騰を記録した。

今週の展望:香港市場は上昇一服か、ハンセン指数14連騰で短期的過熱感

香港市場は上昇一服か。ハンセン指数はすでに先週末まで過去最長の14連騰を記録し、07年10月につけた過去最高値の31958ポイントまで1.7%に迫っている。短期的な過熱感がかなり強まっており、いつ調整が入ってもおかしくない状態。決算発表が本格化する米株市場が崩れたり、今週発表の中国の主要経済指標が市場予想を下回ったりした場合に調整のきっかけになる可能性がある。本土市場も上昇一服となりそうだ。11月につけた直近高値を超える水準では利益確定売り圧力が強まる公算が大きい。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂园 (02007)	18.30	12.82
2 中国蒙牛乳業 (02319)	24.40	8.93
3 香港証券取引所 (00388)	274.80	8.53
4 華潤置地 (01109)	26.60	7.26
5 サズ・チャイ (01928)	41.70	5.84
6 中国海外発展 (00688)	29.55	5.72
7 中国神華能源 (01088)	22.70	5.58
8 中国平安保険 (02318)	86.40	5.05
9 7-11 (00004)	32.35	5.03
10 長江実業集団 (01113)	73.15	4.50

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 Link REIT (00823)	70.45	-4.80
2 招商局港口 (00144)	20.25	-2.88
3 九龍倉置業地産 (01997)	52.50	-2.60
4 ハンセン銀行 (00011)	189.20	-2.47
5 恒安国際集団 (01044)	81.35	-2.16
6 華潤電力控股 (00836)	14.12	-2.08
7 長江インフラ (01038)	66.20	-2.00
8 吉利汽車 (00175)	27.00	-2.00
9 瑞声科技 (02018)	147.70	-1.80
10 恒基兆業地産 (00012)	52.50	-1.78

▼今週の主なイベント

- 1月15日(月) 【米国】キング牧師誕生日で休場
- 1月18日(木) 【中国】GDP成長率(10-12月)、鉱工業生産、小売売上高(12月)

▼今週の期待材料

- ◆米ドル安基調が継続、ドルインデックス低下で香港を含む新興国市場への資金流入が増える公算
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き400億円の資金を市場に供給、資金供給は3週ぶり
- ◆李克強首相が17年の中国のGDP成長率が6.9%程度だったと発言、全体的に予想以上に好調と評価

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数が12日まで過去最長の14連騰を記録、短期的な過熱感が意識される公算
- ◆本土市場で上海総合指数が11日続伸、足元の上昇を受けて上値では利益確定売り圧力が強まる可能性も
- ◆17年の対米貿易黒字が過去最高の2758億米ドルに拡大、トランプ米大統領が対中圧力を強める公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 深セン控股 (00604) : 12月の不動産販売額が3.7倍に拡大、販売面積は37%減
- ☆ 北京首都国際機場 (00694) : 12月の利用客数が4%増加、17年通年では1.5%増
- ☆ 新天綠色能源 (00956) : 17年12月本決算は60%超増益の見通し、発電量は47%増
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 17年12月本決算は売り上げ拡大で純利益倍増の見通し
- ☆ 中国広核電力 (01816) : 17年の電力販売量が19%増加、17年末で8基を建設中
- ☆ 上海医薬集団 (02607) : 米医療サービス会社の中国事業買収計画が独禁法審査を通過
- ◇ 中国金茂 (00817) : 第三者割当増資で正味33億HKドルの調達を計画
- ◇ 九興控股 (01836) : 10-12月期の売上高が0.3%増加、17年通年では1.4%増
- ★ 東風汽車集団 (00489) : 12月の自動車販売台数が5%減少、17年通年では4%増
- ★ 神冠控股 (00829) : 17年12月本決算は販売価格低下で55-65%減益の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。